

会長所信



第51代会長 二見 康一

第51代熱海ワイズメンズクラブの会長として所信を申し上げます。

私は、YMCA・青少年に対しYsメンとしてどのように取り組むのが悩みました。そこで、

今年度の例会を統一テーマで連続性を持たせ、「熱海人である事」の素晴らしさを皆さんと共有したいと考えました。今一度熱海の魅力・歴史に触れ一緒に学んで行きましょう。皆さんご承知のように熱海市のシティプロモーションの成功は、観光客の増加に止まらず不動産売買の増加や新規出店の加速など身近に肌で感じている事と思います。私は例会を通じて会員皆さんが熱海の再発見・再認識を高める事で、何処でも何時でも熱海の話を楽しみ語り合いたいのです。皆さんの話から、新たに熱海に住んだり仕事で関係を持たれた人々にも異なった角度から興味を持ち関心が深まるのではないのでしょうか。また、私達は、子供や孫や地域の青少年に接する機会も数ある中で、子供達にも「熱海っ子」として成長して欲しい時に、この地の歴史を語り故郷に誇りを持って欲しいのです。そして、誇りある市民として地域を越え富士山部・東日本区・DBC・IBCとの交流の際にも付加価値を増したYsは、他クラブから地域から評価されるのです。

それから、有力な会員の集まる例会場では、今以上に情報交換の場としてビジネスや友情の輪が大きく拡がり、同時にお互いが尊敬し等しい立場で語り合える例会運営を目指したいと思っております。会場委員の設置のお願いは其の事を実現する為にご了解頂きました。さらに、八代会長年度のわいわい談義の一つに、ワイズメンズクラブをもっと一般の方々に知ってもらいたい、入会の機会を増やしたいとの事から、公開例会の実施の件が出されました。青少年に関係した指導者を対象に講師を選定し、実施に向けて取り組みたいと考えています。

本年一年は、継続して来たCS事業をしっかり継承し、統一テーマを持って運営し会員皆さんに有益な一年になりますよう努めて参ります。網代・多賀から伊豆山と自然に恵まれた常春熱海に、日本でも有数の歴史あるワイズメンズクラブが有り、そのクラブを代表する者として努力いたしたくご意見ご指導よろしくお願い申し上げます。

お互いに学び・ワイズの心を磨いて参りましょう。

Old and New Do your best



YMC A 理事長 竹内 敏郎

1963年12月15日200名近い全国から集合したワイズメン・リーダーに祝福されてスタートした熱海ワイズメンズクラブは、本年52年目を迎え、二見康一君が会長に就任する。

2017年度東日本区理事には、栗本治郎君が就任、その活躍が大いに期待される。

昨年度初例会に入会された泉明寺みずほさん・蛭田泰造君も、その後大いに活躍されている。

友情を大切に新しい企画を導入し、富士山部、東日本区そしてアジアエリアで大いに活躍される事を期待する。

Do your best, and it must be first class.

原点に立って、未来へステップ



東日本区理事 渡辺 隆

50年の大きな節目を飾られました八代会長そして、新たな60年に向けて二見新会長のもとで羽ばたかれる熱海クラブにお祝い申し上げます。

そして、2017~18年度の東日本区理事をお引き受け頂きました栗本治郎会員に大きな期待を申し上げます。まさに、順風満帆の船出であったことと思っております。

しかし、東日本区は様々な逆風を感じながらのスタートとなりました。これらの課題を乗り越えるために、ワイズの原点に立ち返り、未来に新たなステップを踏み出す、一年とさせていただきます。東日本区の発足時、いわゆる原点は次のように記録されています。

「事業推進の主体をクラブ・部とする。」

「区は「小さなキャビネット」とする。」

「部長の役割は理事に匹敵する。また、区事業主任の役割は部の事業主査が担う。」

これらを実現するために、求められているのは、クラブと部の関係を強固にして、クラブ会長のリーダーシップのもと、会員一人一人の顔が見える個性あるクラブが必要です。

現状を正しく分析し、次世代、次次世代の若者と、いかに考えを共有するか、待っているのではなく、若者の中に飛び込み、心を通わせ、若者にも分かり易いワイズメンを目指し、熱海クラブが大きく「未来へステップ」されることを願っています。

ごあいさつ 富士山部部長 久保田 康正



二見年度、晴れやかなスタートおめでとうございます。

熱海クラブの皆様は富士山部のリーダーであり青少年活動では夏のキャンプ教室冬のスキー教室秋にはドッジボール大会等子供達のよろこぶ活動を数多く

実施され、また市内清掃等行政を巻き込んだ奉仕作業も多く目を見張るものがあり毎月のプリテンを拝見するのを楽しみにしております。

今年度は池田会員増強事業主任、次々期栗本理事の輩出と東日本区でも一番のクラブだと思っております。私が伊東クラブ会長の時同期が山田賢一ワイズでした6月末退会なされたと聞き大変残念に思っております。

今後自分なりにベストを尽くし皆様のご指導ご協力をいただき1年間活動していきたいと思っておりますよろしくお祈りいたします。

最後になりましたが貴クラブの益々のご繁栄とともに大いに活躍されますことをお祈りいたします。



Information



- * アジア大会 7/31 ~ 8/2 京都
- * サマーキャンプ 8/8 ~ 8/9 富士山YMCA
- * YVLF 9/11 ~ 9/13
- * 富士山部会 9/27 伊東

第18回 東日本区大会に参加して

書記 栗本 治郎



第18回東日本区大会は6月6日・7日に厚木市で開催されました。

八代会長と青木夫婦は、代議員会出席のため先に出発し、後発組は一部を除き10時に出発

し、会場の厚木市文化会館に到着後、八代会長と合流し会場隣の回転寿司にて、早速宴会になりました。(回転寿司は意外にも大好評) パナーセレモニーがあるので八代会長はアルコールを自重して会場へ!

一人では持ち切れない熱海クラブの大きなパナーを、八代会長、二見次期会長の二人で持ち壇上へ、いつものながらのドヨメキと拍手・・・!

5時からの分科会では、池田ワイズが次期の会員増強主任として素晴らしいアピールをしていました。

晩餐会はレンブラントホテルに移動し開催されました。参加者431名がテーブル席で食事をするには少々狭い会場でしたが、ホストクラブの苦心のオモテナシでした。

B級グルメで有名な厚木名物のシロコロを堪能して会場に中々現れない不心得者のNワイズも・・・

IBC 京都パレスの平野会長、森田アジア大会実行委員長、為国ワイズ、人見ワイズもアジア大会のアピールのため参加していて、熱海クラブメンバーも壇上に上がり応援しました。フェロシップアワーでは懇親の場を持つことができました。

2日目の表彰式では、EMC-M最優秀賞(新入会員5名獲得)、EMC-C 最優秀賞(出席率100%)を、八代会長が壇上で表彰されました。また、今年もCS年賀切手収集第一位で安田ワイズが表彰されました。

熱海クラブからは、青木メネット、後藤メネットも参加し16名の参加でした。

後日、パレスの人見ワイズから表彰式等の動画記録を送って頂きました。感謝! 6月例会で大川ワイズ編集により披露致しました。